



洋書輸入協会会報

Vol. 32 No. 12 (通巻379号) 1998年12月

臨時総会報告

規約改正のための臨時総会は11月26日(木)午後2時よりホテル エドモント(東京・飯田橋)で開催された。

[出席状況]	出席	32社
	委任状	34社
	計	66社

正会員75社に対して上記のとおり過半数の出席を得たので、規約第5章第30条に基づき臨時総会は成立した。

高橋事務局長より、本年度上期(4月～9月)中に以下の3会員が退会したことが報告された。

第一出版貿易(株)

MRI 情報ネットワーク(株)

(株)大阪洋書

開会にあたり、鈴木理事長より大要次のようなご挨拶があった。

『特別委員会の基本答申を踏まえて、規約改正委員会が渡辺理事を委員長として発足し、5月の定時総会において規約改正案の中間報告をさせていただくと共に、秋に臨時総会を開いて改正案をお諮りすると予告しました。以降そのための準備が精力的に進められて参りましたが、その間皆様方から様々なご支援を頂戴しました。改めて御礼申し上げます。』

事務局長より本年度上期の一般会計収支状況が報告された後、鈴木理事長を議長として議案の審議に入った。

洋書輸入協会規約改正案上程

趣旨説明：渡辺理事・規約改正委員長

質疑応答

規約改正にあたり、協会の運営と活動について、活発な質疑応答が交わされた後、採決に入った。(要旨は別途に報告します。)

採決

賛成多数で理事会提案の規約改正案は可決された。

議長より提案承認に対する謝辞の後、新規約施行に関連して以下の付言があった。

- (1)新規約は本日11月26日を以て施行される
- (2)名称の変更は実質的には来年度になる。この変更時期については規約の付則に注記する。
- (3)本年5月の総会で選出された役員の任期は規約改正に伴い1ヵ年とした。従って来年の定時総会では新規約に基づく第一回の役員選挙が行われる。
- (4)事業計画その他もこの改正規約を基本とする予算に基づいて設計される。

以上で議事を終了し、中林理事(日貿)の次のようなご挨拶を以て臨時総会を閉会した。

『理事や理事会活動のマンネリ化の危惧の中で、負担を軽くしてフレッシュな方々も理事になっていただけるよう、改正にあたってはたいへん苦心した。新しい規約で新しい出発をするべく、理事一同決意を新たにしている。ますます発展して楽しい協会にさせていただきたい。』

以上

目次

臨時総会報告	1	パソコン外論考(其14)	3	1999年度主要国際書籍展一覧	7
DATABASE '98 TOKYO	2	パソコン・音楽・スポーツ	4・5	広告	8
		PRのページ	6		

DATABASE '98 TOKYO 報告

データベースの総合展示会「DATABASE '98 TOKYO」が10月21日から23日にかけて下記のとおり開催されました。

会場は昨年に引き続き有楽町の東京国際フォーラム展示ホールで、今年は開催第10回目を数え、過去最多となる110の企業・団体が出展し、天候には恵まれませんでしたが盛況のうちに終了しました。

名称：DATABASE '98 TOKYO

会期：1998年10月21日(水)～23日(金)

会場：東京国際フォーラム展示ホール（東京都千代田区丸の内）

主催：財団法人 データベース振興センター、日本データベース協会

共催：日本経済新聞社

来場者数：総来場者数 35,611人

（前年総来場者数37,259人）

事務局からの発表によれば、来場者の内訳は次のとおりです。

マスコミ・情報サービス・情報処理・通信関係	11,400人 (32.0%)
コンピュータ・ハード・ソフト関係	3,930人 (11.0%)
電気・機械・医療品・化学工業など製造業関係	9,269人 (26.0%)
金融・証券・保険関係	1,161人 (3.3%)
商業・流通・サービス業関係	3,988人 (11.2%)
官公庁・自治体・大学・研究機関など	5,863人 (16.5%)

今回の展示会では、インターネットビジネスが話題の中心となってきたことを痛感させられました。

Web サービスがその主流であり、これまでのパソコン通信、CD-ROMでのデータ提供からインターネットを通じての需要が拡大しています。その例は商用データベースに顕著で、人物データベース、法律情報データベ

ース、新聞社データベースなど、エンドユーザ向けのインターネットを利用した Web サービスが多数展示されていました。また、従来の件数課金方式の他、分野ごとに契約をし、月間定額料金制を採るサービスも見受けられました。

こうした Web サービスでは、エンドユーザへの情報伝達は電子メールで配信されることが多くなりました。この電子メールでの情報配信も今回の展示会の特徴のひとつでした。このサービスでは会員制を採り、エンドユーザの希望する分野ごとの情報が電子メールや個人専用のホームページで通知されます。このようなサービスはデータベースの積極的利用を促すものとして、今後増加するものと思われます。

各ブラウザソフトのバージョンアップは、その機能向上に伴い画像（動画も含む）の取り扱いが容易になってきました。これは同時に画像データベースの需要を伸ばすこととなり、写真データベースの展示も見かけました。

インターネットビジネスが本格化するためには、国内情報網の整備、プライバシーセキュリティ、電子マネーなど解決しなければならない課題はたくさんありますが、これらのデータベースサービスは特定のユーザを対象としたものではなく、一般のエンドユーザを対象としています。それほど Web というものが社会に浸透してきたということであり、個人で電子メールアドレスを持ち、PDF・SGML・XML といった言葉を日常耳にするような時代が、すぐそこまで来ているように思えます。

これら Web を使った情報検索の手法は従来の手法と共存し、時間を経て Web に移行していくと考えられがちですが、すべての情報検索が Web に急激に取って代わられる時代が来るのかもしれない。そうした時代を迎えるにあたって、膨大な情報の中からいかに効率よく必要な情報を検索できるか、そのためのツールをどのように提案できるか、またそのために最新の情報をいかに収集し、提案に生かせるかが問われる時代になったということを実感させられる展示会でした。

ユサコ株式会社 電子メディアグループ 藝沼宏昭

パソコン外論考 (其14)

宇田川一彦 Udagawa Kazuhiko

◆On a clear day, you can see forever／晴れの日には「永劫」がわかるでしょう

子在川上曰、逝者如斯夫、不舍昼夜、

While standing by a river, the Master said, 'What passes away is, perhaps, like this. Day and night it never lets up.'

(論語/子罕・Confucius; The Analects/Book IX)

【超拙意識；川岸にたっていたとき、先生は言われた。

「過ぎ去るものは、まさにこの川の水と同じだね。昼も夜も止まることなく流れ過ぎ去っていくなあ。人間の生命もこんなものだね】

【外注；この句は、「川上の嘆き」として知られているものです。古注では、上記のような解釈です。ところが新注＝朱子の解釈は、人間の「希望」を詠ったものとします。昼夜やむことのない水の流れ、無限の持続こそ、人間の進歩発展への希望の言と見ます。この解釈も捨て難いですが、嘆きの言葉の方が素直な気がします】

★ここ2～3か月筆者の頭の中から消えなかった、2バイト系文字＝漢字もまとめたかったのですが、現在使用中のパソコン（後述）でのチェックをいたしてから報告したいと思います。要は、パソコンのOSは、MS (Microsoft) 社のWinが主流。そこで、使用される漢字文字コードは、JIS規格というものです。これでは、「人名」「古典文学作品」等々では、現在の「JIS漢字コード」では賄い切れないのが現状。ってな状況のときに、出現した怪物がUnicode (ユニコード) です。

この規格は、世界のパソコン界を牛耳っている米国企業を中心となって（というのと多少の語弊がありますが）推進しているものです。漢字圏の日本・中国・台湾・韓国で使われている漢字をすべて網羅すると大変なので、エイッとばかりに「見た目が同じ漢字」を「一つ」にまとめてしまった規格なのです。

まあ、いえばパソコン（ワープロも含んで）使用の文筆家は多いので、これが「漢字コード」まで気を使わない、気を使う文筆家はパソコンがイヤ（分からん）という二律背反的状况が現状です。で、日本文芸家協会のドン以下が、国語審議界に「漢字に関する要望書」を提出しましたが、漢字を救え！といった感情論に終始する結

末。電腦（コンピューター）無知、いわんやUnicodeやJISコードも御存知ない、かつ本と縁の深い印刷・組版等の実際も無知という作家先生の論は、低能で論外。

と言うようなことも、またの機会にと思っています。

●西暦2000年まであと、380日を切った現在。いわゆる年号を下2桁で表示するWin98のY2K問題。これは、発売当初から言われていたWin98のbugで、紀元2000年になると年号表示がおかしくなるというものです。MS社は、アメリカではこの修正ソフトを無料で配付。

アメリカでは、先般から申していますようにMS社への提訴なども、一社独占を避けて、競争力のあるメーカーの出現を期待して行われているのに鑑みて、日本はどうも、ことコンピューターに関しては後手後手の始末、嘆かわしい。

■かねてから、言われていましたWin95から98へのbugとリヴァージョン・アップは、無意味ということが、最近少しづつ理解されてきているのは嬉しいことです。

日本の雑誌は某社御用達みたいなので、絶対に載らないだろう情報。実際に某社のデータベースソフト+俗に言うオフィス用ソフトは、セキュリティ機能が弱く（ウィルスに犯されやすい）て危ないので使用不可という声がちらほら聞えています。これを大量に使用中の某企業では、この対策として莫大な費用と人海戦術を取るくらいなら、「使用しない」ことで得るメリットの方が大、ということで「件のソフト」を外したそうです。

個人的にも、この独占的OS（決して優れたものではないのですが、選択の余地がないのも実情です）と組み合わせられた（有体に言えば抱き合わされた）ソフトを使用するのを潔しとしない（筆者も）人達は、『無料（有料でも5千円に満たない）でWinよりも使いやすい』Linux（このOSの誕生の源泉は、もう数十年も前のUNIX。このLinuxは、1991年Helsinki UniversityのLinus B. Torvalds氏がPC互換機で作ったのが始め）に乗換え始めています。

因に、Linuxは、現在は「リナックス」と読んでいますが、初期は「リヌクス」（現地読みに近い？）と言っておりました。現在筆者の机上に鎮座していますパソコン一金¥108,000.-のPC互換兼Linuxマシンを使用している報告は、またの機会にと思っています。

長い間、取り留めもない「パソコン外論考」におつき合いいただき感謝いたしております。再会できますことを祈って筆（キーボード/電源をOFF）を置きます。

パソコン・音楽・スポーツ —高齢者の楽しみ—

島岡 丘

新聞の見出しを眺めると、世の中は政界、財界、それにスポーツ界が中心に動いているような印象を受ける。一方、教育界のよいニュースはあまり取り上げられないようなので、教育界で様々な恩恵を受けている私自身のことから書き始めよう。

教員生活を長年していると、年とともに教え子たちが増えてくるのは金銭では測れない充実感と満足感がある。教え子にはそれぞれ親兄弟などがいて、話をしていると、全く新しい世界のことを聞かされることがある。

最近、茨城キリスト教大学の教え子から聞いた話では、ししゅう（ロゴ）の仕事をしている70才になった父親が、「これからはパソコンの時代だ」と急に言い出して、高級なパソコン付きミシンを買い求め、Windows 95用のししゅうソフトを使って、多種多様なボタンを作り上げ、しかも、使う前よりもずっと短時間で作業をこなしているとのことである。

70才と言えば、おじいさんとかおばあさんとか言われて、孫の世話をしたりして、のんびりと、家族のものたちと幸せに暮らしていい年齢である。しかし、戦後、「父母を敬い、…夫婦相和し」の精神構造が壊れたいま、「粗大ゴミ」とか「濡れ落ち葉」の陰口を言われているかもしれない。その教え子の父親のように、高齢になっても、過去の思いにふけることなく、絶えず前向きで自分の夢を着実に実現しようとする創造的な意欲は尊いものであり、世の中に貢献する面が大きい。私は、どちらかと言えば、そのような生き方を選びたいと常日頃思っている。

百才でデビューした、金さん銀さんは、90歳代のとき、数年後にテレビに出ると思っただろうか。この話は歌手のさだまさしさんがコンサートのときに話されたのであるが、「百才を越えられて、どうしてそんなに活躍されるのですか」との問いに対して、金さん銀さんは「老後の蓄えのために」と答えられたそうである。何歳になっても人生の喜びと希望を持ち続けていたいものだ。

その教え子の父親は、高齢者にもかかわらず、パソコン付きミシンでの仕事を始めただけでなく、ギターをマスターしようとして一生懸命だそうである。教え子もギターはプロ級でギターを弾きながら歌うだけでなく、作曲もするので、わが子の影響を受けたのかも知れない。

英語の検定教科書にも、I like to play the guitar. などのように、よくギターの話が出てくるので、私も一度挑戦してみたことがある。いざやってみるといろいろの問題があることに気がつく。まず、まわりの人への迷惑。音楽が嫌いだという人はおそらくいないだろうが、下手なヴァイオリンの練習音と同じく、ギターのギーギーなる音は嫌われる。そこで人がいなくなる時を待つのだが、夜になると明日の仕事の準備の時間が必要になる。教え子からギターを借りたまま何カ月もそのままになってしまったのは残念であるが仕方がない。

その教え子がたまりかねて1対1で教えてくれた。しかしよい音色が出るようになるまではなかなか大変である。弦と弦の幅が狭いのでどうしても1本の指が触れるべき所に他の指が触れてしまう。そうすると、きれいな音が出る代わりに濁った弱い音になってしまう。さらにもう一つの問題は指先の皮膚を丈夫にすることが必要になる。始めての人だと指先が柔らかく、鍛えられていないので、弦が食い込んでしまい、痛くて2、30分もするともう我慢できなくなってしまふ。さだまさしさんが、心とギターが一体になって聴衆を引き込みながら感動の調べを弾き続けているのを見ていると、これまで随分と練習に練習を重ねられたものだと感じる。私にギターの手ほどきをしてくれた教え子の指先も堅いマメのように堅くしまっており、凹んだままになっていた。彼が言うのにはしばらく我慢が必要です。すぐに痛くなくなりますよとってくれるのであるが、そのレベルでさえ到達できそうもないようだ。70才になってから時間が自由にもてるようになれば集中して練習してみたいものだ。

音楽は一人で歌うだけでなく、合唱も楽しいものだ。それに声を出すことは健康のためにもよい。ベートーベンの第九交響曲にある「歓喜の歌」を二三年前、アイリス研究グループの忘年会と一緒にドイツ語の原語（カナつき）で合唱した。

ベートーベンの作曲したこういうすばらしい歌を歌うことは、恒年の行事として多くの人達に親しまれるとよい。実感として、何か体中に元気が蘇ってくるようであるし、少なくとも若者に交じって歌う時は年齢を忘れさせてくれる至福の時である。

私はことばも音楽として捉えたいと思う。特に外国語に関して、とかく、上級学校の入学試験に受かるために「読んで訳す」作業を黙々と続けている学習態度はあらためねばならないと思う。このことで思い出すのは、か

つて詩人でもあった西脇順三郎氏が外国語を『芸術として』学んだと、ある講演会で言われたことである。文字は非連続体であり、ありのままの発音を表すと言うよりは、実際の音を象徴的に示しているにすぎず、文字では十分伝えることはできない。実際の音に近いとされる、発音記号でも、個々の単語には比較的实际の音に近い表記を示しているが、談話の流れにおける変化（同化、弱化、脱落、音調変化など）については表記をしていない。比較的詳しい英語の発音辞典でも、強勢移動などは述べているものの、われわれが知覚する音声について記述することは不可能である。昔使った D. Jones の英語音声学のテキスト (*The Phonetics of English*) の冒頭に書かれていたのは No two people speak exactly alike. (どの二人をとってみても全く同じように話すことはない) の文である。

一人一人表情が違っているように音声異なるから人生が変化に富んで面白いのであって、全く言い方が同じであれば、かえって異様な光景であろう。

最近出版した拙著『目から覚えるスラスラ英語』(小学館)で、発音記号でも英語で捉えることができない英語らしい音声を自己流のカナ表記(島岡式近似カナ)で示してみた。この方式は10年前に世に問うたカナ表記(『通じる英会話はカタカナで』(日本実業出版社)と比べると今の方式のほうが、原音に近づけることができたと思っている。日本語のカナは子音と母音が結合した音節文字だから、like it を「ヌライ^ハケィット」、is it を「イズィット」などのように示せば、その太い/細い、大きい/小さいの4通りによって表すことができ、英語のために聞き取りやすい耳を作り、また通じやすい英語を話すことができるようになると思っている。

日本人は視覚型が多いと一般に言われている。目から音声特徴を把握しておくで英語の音声聞きやすくなるという仮説の正しさを実証しつつある。今のところ、この方式のほうが英語の発音に自信がつくようで、とてもうれしいという報告を多くの教え子などから受けている。

文字に関することはそれくらいにして、スポーツはどうだろうか。体育専門の同僚の先生に聞いたところでは、年をとってもエンジョイできるスポーツは、一つはテニスでもう一つはスキーだそうだ。しかし、テニスは動きが激しすぎるという人は卓球とバドミントンがよいであろう。テニスコートで人にぶつかり、それがもとで入院し、回復しないまま、あの世に去った人もいるのでご用

心。卓球は打つときは足を踏み込んで打つというコツを掴めば、年齢に余り関係なく相手に負けないでやれるし、また、バドミントンはどこでも気楽にやれるという強みがある。

スキーは、最近寒くて嫌だという人がいるが、スキーを楽しまないのは残念である。近頃のスキーは足にフットして回転もしやすく滑りやすくなっている。今年始めてスキーに出かける人は、スキー学校に入り、スキーのコーチから滑るコツを教わることを進めたい。スキーを生まれて初めてはいた人でも、二三時間後には誰でも滑られるように教えるのはすばらしいと思う。

私もスキー歴は中断があるものの10数年はあるが、スキーコーチの巧みな教え方には感心する。先ず恐怖感を取り除くために、イメージトレーニングのようなことをやる。私に伝えたのは、「赤ちゃん、あるいはバスケットボールを両脇に抱えていると思って滑りなさい」ということであった。その次に、「怖いと思ったら、その方に顔を出しなさい」と言う。さらに重心については「まわりの反対側に重心をかけなさい」ということを伝えた。つまり、右に回りたと思ったら、左の足に重心を置き、左に回りたと思ったら右足の方に重心を移動せよということである。実際そのようにすると、自然にまた不思議に回るのである。

技術の習得にはこのようなイメージと実践が必要である。これがおっくうな時は長距離スキーというのがある。スキーで雪道を進めば平らなところでも自転車の速さは保てる。緩やかな坂道では、大自然の山々の雄大な姿を觀賞しながら、ゆっくりと滑ることができる。

日本は南北に長く、スキーの楽しめる地域は広い。カラオケで「北国の春」や「知床旅情」などを歌うのもよいが、実際に北国の雪景色を楽しみながら、体を動かし、新陳代謝を活発にするのは長生きする条件の有力な一つであると言っても差し支えなからう。

(茨城キリスト教大学教授)

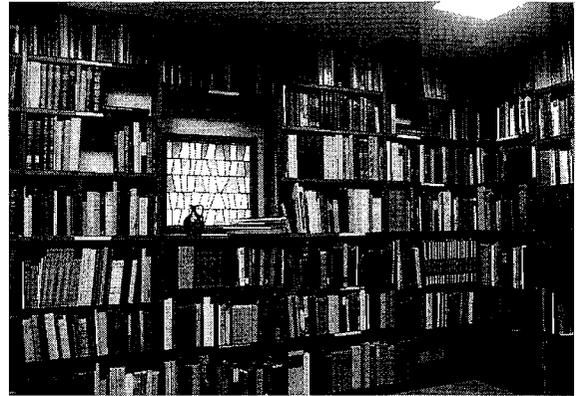
Yushodo Gesner Library ご案内

平成9年11月に雄松堂書店は創業65周年を迎えました。その記念事業の一環として、当ライブラリーを公開し、既に1ケ年にならんとしています。この間数多くの方々にご利用戴き、多少なりともお役にたったものと喜んでる次第です。

当ライブラリーの名称は、世界で初めて本格的な書誌目録を完成させたことで著名な Konrad von Gesner (1516-1565) の名前に因んで Yushodo Gesner Library と命名しました。その所蔵は、雄松堂書店が40数年かけて収集しましたレファレンス（本に関するあらゆる文献、目録、書誌等々）が中心であります。例えば—これから自分の文庫でも造ろうと思われる方々をはじめ、既に購入された本が本当に初版であるかどうかを調べたい方にもお役に立ちます。是非一度お試しください。

当ライブラリーには全分野にまたがった文献が有り、開館当時は1437点、約2000冊でしたが、その後95点110冊強補充し、合計1537点、2110冊になりました。テーマ別に内容を分類しますと下記の通りとなります。

- 1) 印刷以前=グーテンベルグの活字印刷発明（1450年頃）以前の文献中心。
- 2) インキュナブラ=活字発明より1500年までの文献。
- 3) 印刷・活字の歴史=上記の部分も含む活字印刷全般の歴史。「本の歴史」とも言える。
- 4) 紙・紙製法・透かし模様=紙に関するあらゆる文献。
- 5) 装丁・造本=歴史的に著名な装丁をはじめ、著名な装丁者の作品、装丁の際のデザイン及び造本方法等。
- 6) 蔵書票=好みのデザインを施したり、小さな絵を駆使した美しい票で、大切な蔵書の表紙裏に貼る。現在は石版や銅版で刷られ、小さな宝石といわれてコレクターが世界中にいる。
- 7) 私家版・私家本・私家印刷所及び発行所=自ら活字を作り、紙を漉き、装丁を施し、更に部数限定で刊行した書物。
- 8) 書誌・本の本・本の収集・書店=調べたい分野のレファレンスを検索出来る文献、本に関する文献、本の収集入門書、世界の著名な書店の目録。
- 9) 聖書=聖典、祈祷書、聖書一般
- 10) 世界各国の文学、語学、古典、評論、百科事典、人名字典



- 11) 児童書・子供の絵本
- 12) 政治・社会・法律・教育・哲学・宗教・思想・心理
- 13) 経済・経営（史）・会計・簿記
- 14) 日本・支那・朝鮮・アジア・アメリカ・イギリス・スコットランド・アイルランド・ヨーロッパ・アフリカ・ラテンアメリカ・北欧・航海・探検・地図・地球図=各国の歴史、風俗、風習、民族に関するあらゆる文献
- 15) 美術一般、装飾、デコレーション、服飾
- 16) 建築・家具・庭園・考古=建築の起源をたどれば必ず必要になる考古学、室内の装飾品としての家具、庭の手入れを含めた総合的な建築
- 17) 医学・科学・動物/植物学史
- 18) 署名入書簡・自筆書簡・自筆原稿（写本）
- 19) 入札目録
- 20) 各国図書館/博物館目録
- 21) 各種図書館展示会目録
- 22) 趣味=
 - 漫画/釣り/登山/料理/音楽/ダンス・バレエ
 - 風俗/グラス/扇子/手品/映画/鉄道
 - スポーツ/写真/おもちゃ/豆本/飛行機/船
 - 煙草/ワイン・ドリンク/カメラ/トランプ
- 23) 人名=文献に記載されている全ての名前

以上が当ライブラリー所蔵文庫の全分野の簡単なお紹介及びご案内です。

（株）雄松堂書店・ライブラリアン 荒木清式

1999 年度主要國際書籍展一覽

書 籍 展 名	開催期日	開催地	連絡先 FAX
EXPOLANGUES	1/28- 1/31	Paris	33 1 41904700
MILIA	2/ 9- 2/12	Cannes	33 1 41904409
AAS (ASS. FOR ASIAN STUDIES)	3/11- 3/14	Boston	313 665 3801
SALON DU LIVER, PARIS	3/19- 3/24	Paris	33 1 41904769
LEIPZIG BOOK FAIR	3/25- 3/28	Leipzig	341 6788242
LONDON INTERNATIONAL BOOK FAIR	3/28- 3/30	London	181 940 2171
BOLOGNA CHILDREN'S BOOK FAIR	4/ 8- 4/11	Bologna	39 51282332
TOKYO INTERNATIONAL BOOK FAIR	4/22- 4/25	Tokyo	3 3345 7929
BOOK EXPO AMERICA (ABA)	4/30- 5/ 2	Los Angeles	203 840 9614
WARSAW INTERNATIONAL BOOK FAIR	5/13- 5/17	Warsaw	22 828 1057
SEOUL INTERNATIONAL BOOK FAIR	6/ 1- 6/ 6	Seoul	82 2 7385414
SPECIAL LIBRALY ASSOCIATION BOOK EXHIBIT	6/ 5- 6/10	Minneapolis	202 265 9317
AMERICAN LIBRARY ASSOCIATION ANNUAL CONFERENCE EXHIBIT	6/24- 7/ 1	New Orleans	312 280 3256
AUSTRALIAN BOOK FAIR	7/24- 7/27	Sydney	2 9 281 1073
IFLA	8/20- 8/28	Bangkok	070 3834827
MOSCOW INTERNATIONAL BOOK FAIR	9/ 1- 9/ 6	Moscow	095 973 2132
LIBER INTERNATIONAL BOOK FAIR	10/ 6- 10/10	Madrid	1 7225788
FRANKFURT BOOK FAIR	10/13- 10/18	Frankfurt	69 2102227
CIROBE '99	11/12- 11/14	Chicago	312 955 2967
INTERNATIONAL BOOK FAIR, BEIJING	2000年 8/27- 9/ 1	Beijing	10 65063101

BBC EDUCATION & TRAINING

BBC VIDEO LIBRARY

最新刊

ロイヤル・ナショナル・シアターの 「リア王」 KING LEAR

1998年BBC(英国放送協会)制作 2巻組140分(オリジナル英語版・スクリプト付) ¥80,000(税別)
イアン・ホルムをタイトル・ロールとした、ロイヤル・ナショナル・シアターの「リア王」。世界中の演劇界・批評家が激賞したこのステージの完成度は、ジョン・ギールグッドそしてローレンス・オリビエの名演とともに今世紀最高のパフォーマンスとして残されることは間違いない。リチャード・エアの演出によるその舞台の緊張感をそのまま映像で再現するためBBCが最高の撮影スタッフを擁して取り組んだ1998年の大収穫。撮影監督に「フィッシャー・キング」などのロジャー・プラット。



'BLOW WINDS, AND CRACK YOUR CHEEKS! RAGE! BLOW!'
KING LEAR

IAN HOLM'S REMARKABLE PERFORMANCE AND RICHARD EYRE'S STUNNING DIRECTION MADE THE ROYAL NATIONAL THEATRE'S KING LEAR ONE OF THE MOST TALKED ABOUT THEATRICAL EVENTS THIS CENTURY.

THE FULL POWER OF THIS TRIUMPHANT SHAKESPEAREAN PRODUCTION NOW COMES TO TELEVISION, IN A SPECIALLY FILMED PERFORMANCE ALSO DIRECTED BY RICHARD EYRE.

IAN HOLM AGAIN CLAIMS THE TITLE ROLE WHICH BROUGHT ACCOLADES FROM CRITICS ALL OVER THE WORLD. WHILE A STAR-STudded SUPPORTING CAST INCLUDES TIMOTHY WEST AS THE EARL GLOUCESTER, FINBAR LYNCH, PAUL ROYS, BARBARA FLYNN, AMANDA REDDAN AND VICTORIA HARRISON.

FIRST PERFORMED ON ST STEPHEN'S NIGHT 1606, KING LEAR HAS LONG BEEN RECOGNISED AS ONE OF WILLIAM SHAKESPEARE'S MOST COMPLEX AND POWERFUL PLAYS. THE TRAGEDY OF A POWERFUL MAN BROUGHT TO THE BRINK OF MADNESS AND DESPAIR RESONATES STRONGLY STILL THROUGH THE TROUBLED EVENTS OF OUR OWN TIMES.



'A magnificent performance.'
INDEPENDENT ON SUNDAY

BBC(英国放送協会)ワールドワイド社 日本総代理店
株式会社 キャリア・デベロプメント・インタナショナル
グローバルメディアグループ
東京都港区三田3-13-16 三田43 森ビル7F 〒108-0073
TEL. (03)5445-2959 FAX. (03)5445-2937

SONY
Group

1998年12月 通巻第379号 洋書輸入協会 編集者 高橋 紘
☎103-0027 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室 ☎(03)3271-6901 FAX.(03)3271-6920

印刷所=藤本総合印刷株式会社